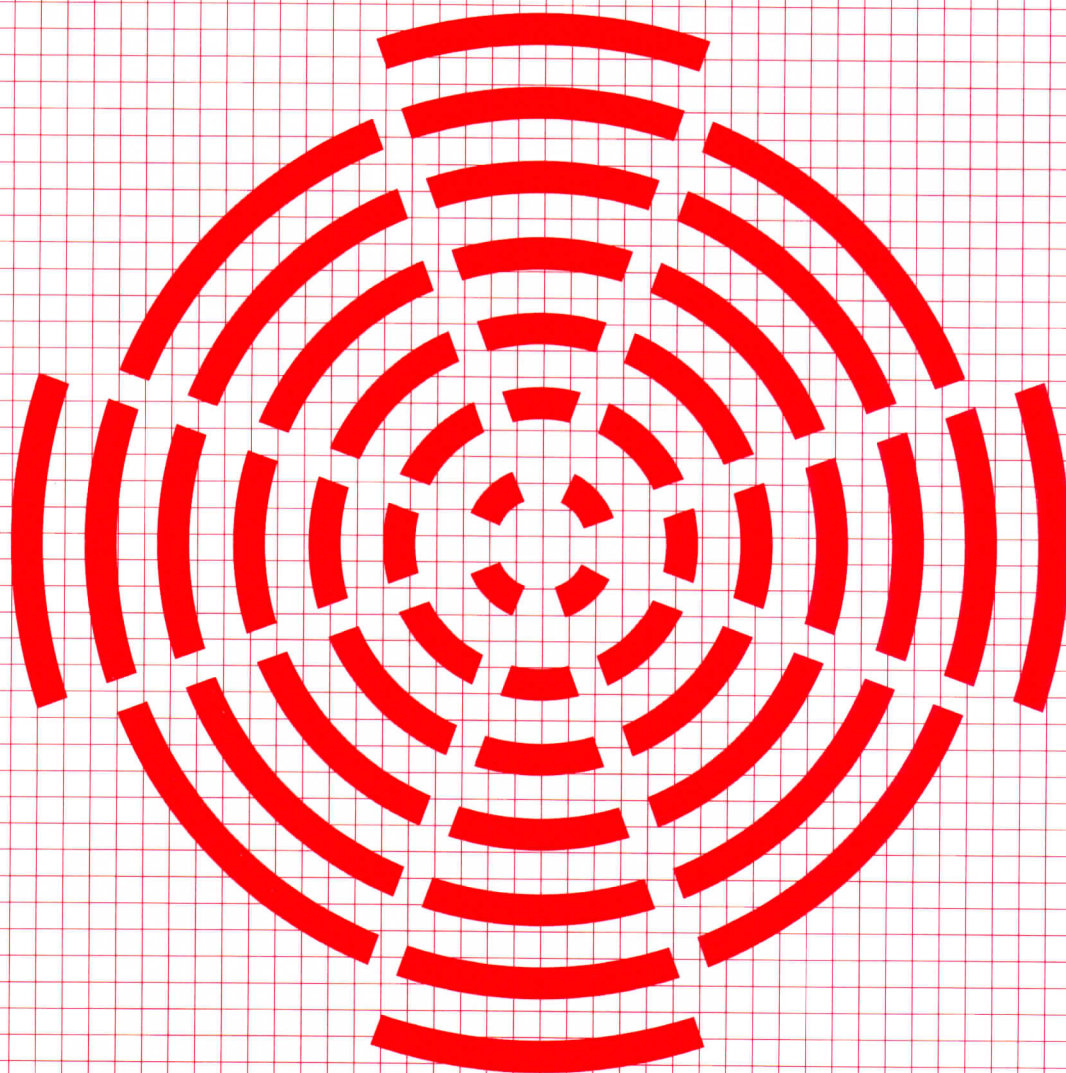


建築
設備
設計

設計と監理

協会だより VOL.40 NO.146



一般社団法人
千葉県設備設計事務所協会



一般社団法人
千葉県設備設計事務所協会
会 長 梶 原 等

設計技術者と省エネルギーの課題について

近改正省エネ法は平成29年4月から本格的に始動する。

大型施設のみならず、小規模な施設や住宅レベルまでエネルギー問題をユーザー自身が再考する時代に突入している。既に自動車ではハイブリッドカーは当たり前。電気自動車、水素自動車と新エネルギーの幕開けがそこまで近づいているのである。

さて、私達建築業界では如何だろうか？

エネルギーの削減をする分財政面ではコストが増加する現実がある。これを如何に解決していけるか？何処まで調整できるか？ここは我々専門技術者の出番であると言える。

しかしながら現実を目を向けた時、最近の社会情勢でこの問題をどうやって解決できるであろうか？長引く低迷経済により建築設備の技術者の大半は本来持っている技術を十分に発揮する機会を失い、高度経済成長期のような魅力的な建築が極端に少なくなった現在若手技術者は技術を磨く場（育つ場）を失っているのが現実である。

この現象は建築設備技術者に限ったことではなく建設産業全体に言えることである。

しかし、この状況を嘆いていても何も始まらない。今の社会がそうであれば我々から技術を発信する事を推し進めていく必要がある。その為には建築に携わる技術者がお互いの垣根を越えて本気で関わり本物を見る力をもう一度養う事から始めなければならない。

特に枝葉の細かい事ではなく大局的に物事を見つめる力を養う事が急務であると感じる。

先日構造設計の先輩技術者からこんな言葉を頂いた。私たちが行っている設計は計算書から算出された数字を基に設計しているのではない。構造設計も感性で設計出来なければならない。計算根拠はあくまでその裏付けである。建築設備設計技術者にも同じ事が言えると実感した。

特にこれからの若手技術者には「大局的に物事を見る力」「感性で設計できる能力」を身に付けて頂きたい。

それが達成された時日本のエネルギー事情が少しでも好転の方向に向かう事を期待する。

【目 次】

巻頭所感	会長 梶 原 等	1
総 会		2～7
行事報告		8～11
七都県交流会		12
設備設計事務所協会30周年祝賀会参加報告		13
勉強会	TOTO(株)様、東京ガス(株)様、能美防災(株)様	14・15
新会員紹介		16～19
正会員名簿		20・21
賛助会員名簿		22～27
伝言板・うまいもの食べ歩き		28

行事報告

平成28年

- | | | |
|---------|-----------------------------------|----------------------------|
| ◎ 4月21日 | 千葉市分譲マンション協議会総会 | 梶原副会長、藤井理事、
松井理事、津國理事出席 |
| ◎ 4月22日 | 理事会（4月定例会） | プラザ菜の花にて |
| ◎ 4月27日 | 千葉県建築設計関連6団体連絡会議 | 森田会長、梶原副会長出席 |
| ◎ 5月 9日 | 千葉県建築展準備会議 | 梶原会長、津國理事出席 |
| ◎ 5月17日 | （一社）千葉県空調衛生工事業協会 懇親会 | 梶原副会長出席 |
| ◎ 5月20日 | 第4回定時社員総会並びに懇親会 | プラザ菜の花にて |
| ◎ 5月25日 | （一社）千葉県電業協会 懇親会 | 菅原理事出席 |
| ◎ 5月27日 | （協）千葉電設協会 懇親会 | 菅原理事出席 |
| ◎ 5月30日 | 第3回設備設計関係協会全国会長会議 | 森田理事出席 |
| ◎ 6月 1日 | 日本構造技術者協会
関東甲信越支部JSCA千葉 総会・懇親会 | 梶原会長出席 |
| ◎ 6月 3日 | 理事会（6月定例会）・勉強会 | プラザ菜の花にて |
| ◎ 6月 3日 | 千葉県建築設計事務所協会 総会・懇親会 | 梶原会長出席 |
| ◎ 6月 6日 | 千葉県建築展準備会議 | 梶原会長、津國理事出席 |
| ◎ 6月 9日 | 千葉市分譲マンション協議会 相談会 | 梶原会長出席 |
| ◎ 6月20日 | 千葉県建築設計関連6団体連絡会議 | 梶原会長、鈴木副会長出席 |
| ◎ 6月25日 | 欠陥建築トラブル相談会 | 森田理事出席 |
| ◎ 7月 1日 | 理事会（7月定例会）・勉強会 | プラザ菜の花にて |
| ◎ 7月 4日 | 千葉県建築展準備会議 | 鈴木副会長、津國理事出席 |

◎ 7月29日 納涼屋形船

浅草橋田中屋



鈴木副会長の司会ぶりも板についてきました。

◎ 8月26日 第42回 千葉県建築設計6団体連絡協議会

梶原会長出席、
鈴木副会長出席

◎ 8月26日 千葉県建築設計関連6団体連絡会議・
意見交換会・懇親会

梶原会長出席、
鈴木副会長出席

◎ 9月 2日 理事会 (9月定例会)

プラザ葉の花にて

◎ 9月30日 第9回協会主催ゴルフコンペ

真名カントリークラブにて

《第9回（一社）千葉県設備設計事務所協会主催ゴルフコンペ》

- ・ 真名カントリークラブ真名コース 千葉県茂原市真名1744 TEL.0475(24)5211
- ・ 競技方法：新ペリア方式
- ・ HDCP上限：36
- ・ 参加者：22人



優勝 椿 準（能美防災株）
準優勝 浮島 藤光（京葉工管株）
3 位 渡辺 康之（京葉工管株）

お忙しい中ご参加いただき有難うございました。
お陰様で、天気も良く有意義に開催することが出来ました。
次回は、来年春を予定しています。

-
-
- | | | |
|----------|------------------------|--------------------------------|
| ◎ 10月 7日 | 理事会(10月定例会)・勉強会 | プラザ菜の花にて |
| ◎ 10月11日 | 千葉県弁護士会・建築相談協議会合同勉強会 | 梶原会長出席 |
| ◎ 10月14日 | 第43回 千葉県建築設計6団体連絡協議会 | 梶原会長、
鈴木副会長出席 |
| ◎ 10月14日 | 千葉県建設計関連6団体連絡会議・意見交換会 | 梶原会長、
鈴木副会長出席 |
| ◎ 10月21日 | 7都県交流会(東京・関東ブロック会事前協議) | 梶原会長、
鈴木副会長出席
(P12 詳細記事) |
| ◎ 10月28日 | (一社)鹿児島県設備設計事務所協会祝賀会 | 梶原会長出席
(P13 詳細記事) |
| ◎ 11月 4日 | 理事会(11月定例会) | プラザ菜の花にて |



11月4日の定例会の様子。
新会員の高濱さんが参加してくれました。



◇平成28年度七都県交流会(東京・関東ブロック会議)参加報告

開 催 日:平成28年10月21日(金)

時 間:14:30~16:30

場 所:ラフレさいたま

参 加 者:(一社)日本設備設計事務所協会 会長 西田能行 ・ 同事務局

東京ブロック (一社)東京都設備設計事務所協会

関東ブロック (一社)茨城県設備設計事務所協会

// (一社)埼玉県設備設計事務所協会

// (一社)栃木県設備設計事務所協会

// (一社)群馬県設備設計事務所協会

// (一社)神奈川県設備設計事務所協会

// (一社)千葉県設備設計事務所協会

北陸甲信越ブロック(一社)山梨県設備設計事務所協会

(今回はオブザーバー参加だが連合会移行後は関東ブロックに)

- 議 事: 1.来年度日設事協が連合会されるに向け申し込当対応について各県からの報告
(各都県共連合会に参加する方向性を確認)
- 2.連合会化された後の関東ブロック協議会理事の選出方法について
(暫定理事が決定、茨城:菊地会長、埼玉:服部顧問、千葉:梶原会長)
- 3.連合会設立後のブロック協議会運営方法について
(連合会の意義について説明、運営費などの意見交換)
- 4.持続性ある設備設計事務所業会を形成していくことについて
(各県より意見が出され協議)
- 5.次回連合会移行後の第1回会議はH29年5月開催とし開催場所は東京都とする

終了後 同会場にて懇親会が開催され各県の意見交換が活発に行われた。

翌22日には親睦ゴルフ大会が東武藤が丘CCにて開催された。

(議事録抜粋)



◇一般社団法人 鹿児島県設備設計事務所協会 30周年記念式典祝賀会参加報告

日時:10月28日(金)17:00～
会場:ホテルパレスイン鹿児島

30周年の開会は西田会長のあいさつにより始まった。

その後鹿児島県設備設計の業界に特に力を注いで下さった、元鹿児島市建設局建築部長であられた藤山氏に功労者の顕彰が授与された。その後、鹿児島県知事(代理)、市長(代理)からのあいさつを頂き、(公社)公共建築協会 時田氏の基調講演の後、祝宴へ移った。

15社の正会員数の協会でありながら220名を超える人数の記念大会を見事に開催された鹿児島県設備設計事務所協会の力には会員同士の結束力を感じた次第である。

又、参加した多くの他県同業社は九州ブロックの各県の会長をはじめ、北海道、埼玉、広島、香川と各方面からの参加もあった。特に九州ブロックと日設協の役員との間には日ごろの交流の深さを感じることができた。

名簿を見て気付いた事は、鹿児島県会員は各事務所とも複数のスタッフが在籍されている事務所が多い。それは県をあげての建築設備設計というポジションを確立し、後継者に継承をして行こうという姿勢の表れではないかと感じた。

翌日は鹿児島県の方を中心に九州ブロック、日設協の役員と一緒に好天の中楽しい親睦を深めることが出来、とても有意義な訪問であった。

今回の訪問をきっかけに当千葉県の立ち位置を再考しなければいけないと感じたことも一言付け加え報告とさせていただきます。

(梶原)



◀西田会長



◆平成28年度 勉強会開催実績

◎6月3日 TOTO(株)

フラッシュタンク式便器の新技术による
実験と製品説明、防汚技術、新尿石制御、
節水システム、インターバル配管洗浄な
どの新技术のご紹介



Point 1 給水口径15Aで連続洗浄※1可能!

タンク式と同等の給水口径15Aで
フラッシュバルブ式と同等の連続洗浄※1が可能に!

約20秒
給水口径
15A
30%の節水が可能

給水配管とポンプのサイズダウンが可能となり、配管改修の場合、
建物の劣化低減に役立ちます。

■新洗浄システム「フラッシュタンク式」
タンク式大便秘器と同等の給水口径でフラッシュバルブ式同等の
連続洗浄※1を電源レス※2で実現。TOTOが培った便器洗浄技
術で実現した、ハブリックの新定番です。

タンク内の
水を約20秒に
洗浄
給水口径15A
15Aの節水
必要給水量
で配水
便器洗浄

※1 一度洗浄してから約20秒で次の洗浄ができます。
※2 ウォッシュレット連動タイプの場合のみ電源はウォッシュレットより供給します。

Point 2 清掃性・メンテナンス性

凹凸のない壁掛式便器ならふき掃除も床の清掃もラクラク
掃除口付なら方が一のときも安心です

便器下の70mmの空間
70mm

サイドハネルで凹凸のないす
っきり形状なので、ふき掃除がラ
クです。便器下に70mmの空間
を確保。モップがけがしやすい
です。

便器奥の吐水口より水流を勢いよ
く噴出。トルネード水流で便器全
体をくわると効率よく洗い流しま
す。フチがないのでお掃除ラク
ラクです。

掃除口

ライニング内掃除口で楽な姿勢で
大便秘器内部のつまり解消!

※画像はイメージです。
実際の商品と異なる可能性があります。

Point 3 コンパクトサイズ&掃除口付

従来の壁掛大便秘器セットよりさらにコンパクト!
掃除口付で優れたメンテナンス性!

実寸
40mm
コンパクト
ライニング高さ
180mm
コンパクト

従来の壁掛大便秘
器セットと比較して
奥行きが40mm※1
コンパクトになり
ました。

※1 壁掛大便秘器・フラッシュバルブ式との比較
※2 ライニング高さは専用ライニングセットの場合

掃除口のメンテナンスに必要な寸法が不要になりました。
＜フラッシュバルブ式の場合＞ ＜フラッシュタンク式の場合＞

便器奥のメンテナンスに必要な寸法が不要になりました。
＜フラッシュバルブ式の場合＞ ＜フラッシュタンク式の場合＞

掃除口が便器奥にあるた
め、メンテナンスに便器中
心から奥まで550mm必
要です。

便器正面から掃除口にアプ
ローチ。メンテナンス寸法
の確保は不要
となりました。

◎7月1日 東京ガス(株)

電力自由化の概要と東京ガスの電力販売事業のご案内

1.6-1 小売全面自由化～仕組み～①：電力供給のしくみ

- 新規参入者（新電力）は電力会社の既存の送配電線を使用して電力を販売
- 電気の高品質・信頼性（停電等）はこれまで同様

電力自由化でも変わらないこと

- 送配電設備 電線を新しく敷く必要はありません
- 電気の高品質 周波数や電圧などは変わりません
- 供給の安定性・信頼性 停電のリスクは変わりません
- お客さま建物内の電気設備 プレーカー等を変更する必要はありません
- 電気の高品質 これまで通り電力会社が実施します

電力自由化で変わる点

- 供給事業者 新電力（特定規模電気事業者）と呼ばれる事業者が参入します。
- 料金体系 様々な料金体系やサービスの登場が予想されます。
- メーター スマートメーターが取り付けられます。（見える化サービスなどに活用できます）
- 料金手続 新電力が電力を供給し、料金請求・回収も行います。

2.1 東京ガスの電力小売事業の特長

- 電力小売事業に参入においては、「電源」「販売チャネル」「運用ノウハウ・システム」を有することが重要

1.電源の確保 ⇒電源の拡充

- 首都圏に新電力最大級の130万kWを確保。2020年には300万kWへ。

2.販売体制 ⇒1,100万件の顧客基盤の活用

- 関東圏に1,100万件の顧客基盤を持ち、お客さまとの接点機会を生かし、お客さまの多様なニーズにワンストップで対応可能。

3.運用ノウハウ・システム ⇒事業運営体制の確立

- ガス事業のみならず分散電源（コージェネ・燃料電池など）・LNG火力発電所等電力の運営経験も生かし体制整備を図るとともに、システム対応も実施。

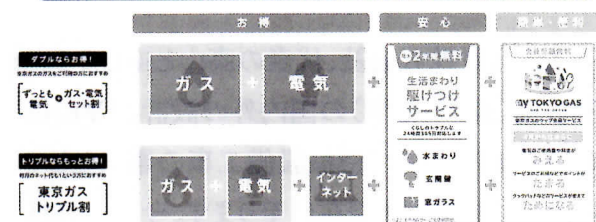
東京ガスグループは自ら保有するとともに関係者とも連携

- 「ずっともプラン」はお客さまの生活スタイルやビジネスニーズにあわせて、「ガス」「電気」に加え、「各種サービス」の中からお客さまが自由に選択いただける、組み合わせることができる総合的なプラン

ずっともプラン = ガス + 電気 + サービス

トータルメリット約20,000円以上/年もお得！

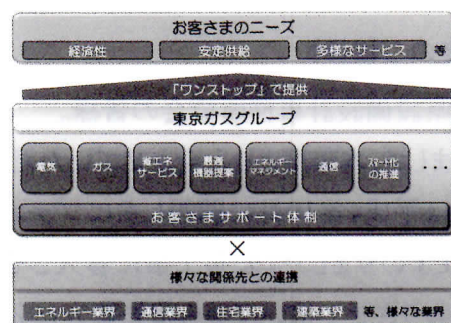
(年間電気使用量4,700kWhのモデルケースの場合)



Copyright 2016 TOKYO GAS CO., Ltd All Rights Reserved

4. まとめ（総合エネルギー事業の進化に向けて）

- お客さまの多様なニーズに応じてガス・電気・付加価値サービスを「ワンストップ」で提供する「総合エネルギー事業の進化」を実現
- アライアンスも活用しサービスメニューも拡大



Copyright 2016 TOKYO GAS CO. Ltd All Rights Reserved

◎10月7日 能美防災(株)

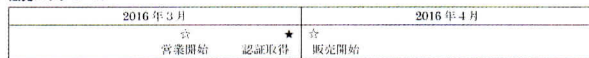
法改正による簡易スプリンクラー設備について

建物規模別の施工事例や実験映像を交えた新製品説明会

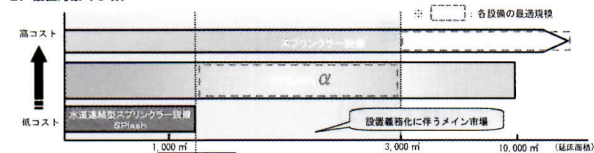
NOHMI
消費推 2G 27-50r6

「SPlash」の概要

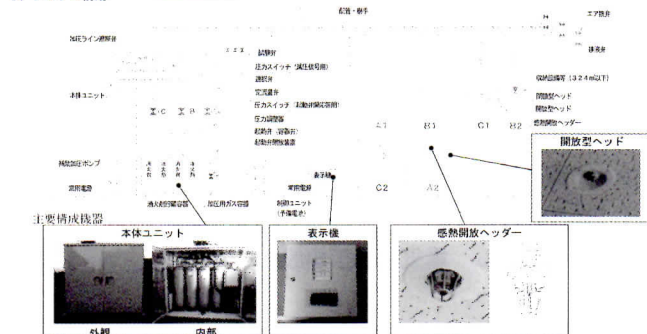
1. 販売スケジュール



2. 設置対象（6項）



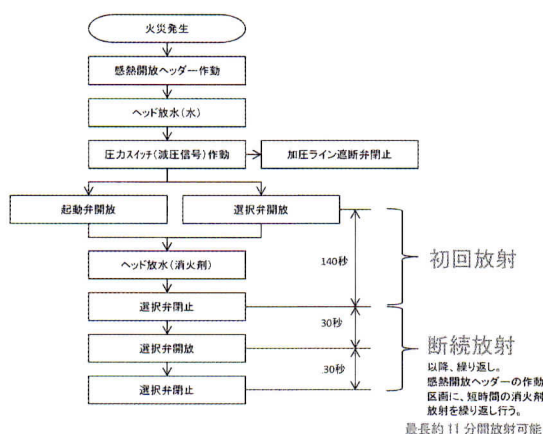
3. システム構成



4. 特長

- ① **信頼できる安心設備**
- ・感温・感圧・感振と検知のあるスプリングラバーヘッドと同レベルの信頼性。
 - ・感知部の動作・配管内部の水を即時放水するため、初期放水の希望が期待できます。
 - ・設備設置による残火があっても、湯沸き用配管に放射状火災拡大を抑制します。
- ② **工事負担を軽減**
- ・ポンプ、水栓、非常電源、遠水検知装置などが不要になります。
 - ・低圧止水弁への閉鎖装置に適用した小口径（2.5A）の樹脂管をご採用頂けます。
 - ・樹脂管の採用により、配管工場の騒音軽減や作業時間の短縮が図れます。
- ③ **維持管理が容易なシリアル設備**
- ・感知部が放水部は外周直結のため、工事など（停電・断水、部材劣化）での点検が容易です。
 - ・消火活動への周知警報に必要な圧力（約0.1MPa）を発生させ、維持管理が容易です。

5. システム作動フロー



6. 告示基準に基づく設備（例）との主な相違点

	項目	SLP仕様	告示基準に基づく設備(特)
設置条件	設置場所	令第32条の2参照	令第29条の4(ルートB)
	設置対象	(6)項 10,000 m ² 以下	(5)項、(6)項 10,000 m ² 以下
	適用可変式天井高さ	3m以下	6m以下
	配管上の圧力	許容圧未満	許容圧未満
	火災発生源の検知	感煙探知装置(火災検知装置) (配管内設置による圧力・温度センサーの作動)	異なる種類の2種類の感煙装置(火災検知装置) 感熱探知装置2種類(感熱センサー1種)
設備仕様	消火器取付箇所数	感熱探知装置より選択	感熱探知装置(火災検知装置) オートマン選択可
	各区分への配管	なし	加圧配管 12種用 10分間継続噴射全用
	消火器保有量	640L(1ユニット) 消火器取付に連続設置	640L(2.2L×3ユニット)
	放水距離	消火器取付に連続設置	1分4秒(1ユニット分)のみ 隣接する2つのユニット分
	放水圧力	消火器取付に連続設置より隣接する2つのユニット分可能 又は(消火器の放水圧力)消火器取付可能	隣接する2つのユニット分 又は(消火器の放水圧力)消火器取付可能
	放水到達距離	15.2m(1ユニット)	21.0m(2.2L×3ユニット)

会員の方のみならず、社員様にも多数参加いただき、好評のうちに開催されました。
ご協力いただきました TOTO(株)様、東京ガス(株)様、能美防災(株)様
ありがとうございました。

●アクト設備設計株式会社

《入会のご挨拶》

千葉県設備設計事務所協会の皆様。

初めまして、本年度より入会させていただきました、アクト設備設計株式会社、代表の高山と申します。弊社は平成4年10月に開設し主にプラント系電気、計装設備(鉄鋼・化学)の国内外の設計、SVに携わってまいりました。公共工事に参入させて頂いたのは平成14年からで機械設備工事の電気として仲間入りさせて頂いてから諸先輩方に公共工事のいろはをご指導頂き現在に至ります。今回会長様とのご縁で入会させて頂きました、協会の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

- ◆ 事務所名 : アクト設備設計株式会社
- ◆ 代表者 : 高山 洋二
- ◆ 事務所所在地 : 千葉県千葉市若葉区殿台町127-1
- ◆ 電話/FAX : 043-290-5744/5745
- ◆ E-mail : takayama-act@pop12.odn.ne.jp
- ◆ 業務内容 : 建築/プラント電気、計装設備設計・管理
- ◆ 創立年月日 : 平成4年10月
- ◆ 代表者経歴 : 昭和51年4月～平成4年9月 株式会社 中央エンジニアリング



アクト設備設計(株)事務所風景

川崎製鉄千葉工場内事務所在籍

平成4年10月 現事務所開設

- ◆ 業務経歴 : 平成4年～11年 川崎製鉄株式会社(現JFEスチール株式会社)
 - 台湾向 東和鋼鉄企業服伶有限会社
 - 製鉄工場建設工事 電気設備工事設計・SV
 - 中国向 宝山製鉄所 2nd steel making plant of the 3rd phase.
 - 電気設備工事設計・SV
 - インド向 ビラースティール
 - シンターリングプラントⅠ期工事 電気設備工事設計
 - USA向 U.S STEEL GARY WORKS
 - サブランス・サンプリングシステム 電気設備工事設計
- 平成9年度 株式会社 日建設計殿
 - マレーシア向 クリムMEMCシリコンウエハー製造工場建設工事
 - 電気設備設計チーム参加
- 平成14年～25年度抜粋(事務所・サブコン・メーカー経由)
 - ・東京文教学園 恵比寿新校舎建設工事 電気設備工事
 - ・鹿島石油(株) 鹿島製油所殿向 第6水素化脱硫装置建設工事
 - ・白鳥製薬株式会社 B4物質製造設備建築工事 電気設備工事
 - ・北陸自動車道 長岡地区通信施設災害復旧工事 設計助勢
 - ・水産総合研究センター本館電気室高圧受変電設備他改修工事
 - ・特別養護老人ホーム プラタナス新築工事 電気設備工事
 - ・木更津工業高専 第1体育館等非構造部材耐震改修電気設備設計
 - ・館山市役所4号館緊急災害用太陽光発電システム等設置工事(電気設備工事)

●有限会社 古谷建築設備研究所

《入会のご挨拶》

このたび、入会させていただきましたこと大変光栄に思っております。

昨今、業界では企業の合併、分社化、不採算分野からの撤退等様々な変化が起こっているようです。反面、独自の技術、アイデアなどを武器に着実に業績を伸ばしている企業もあるやにお聞きしております。そのような中、及ばずながら新しい技術ノウハウを吸収しながら皆様のお役に立ちたいと努力を重ねている昨今です。微力ではありますが皆様になにがしかのお力になれば幸いですとともに、幾多の御指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

- ◆ 事 務 所 名 : 有限会社 古谷建築設備研究所
- ◆ 代 表 者 : 古谷 威 (ふるや たけし)
- ◆ 事務所所在地 : 千葉県船橋市緑台2-8-6-303
- ◆ 電 話 / F A X : 047-440-2779 / 047-440-0389
- ◆ E - m a i l : elec.furuya@nifty.com
- ◆ 業 務 内 容 : 建築電気設備 設計・監理
- ◆ 代 表 者 経 歴 : 昭和42年 3月 日本大学工学部 電気工学科卒業
昭和42年 4月 日新設計(株)入社
昭和47年10月 退社
昭和47年11月 三和建物(株)入社
平成 5年10月 退社
平成 6年11月 有限会社 古谷建築設備研究所を設立
現在に至る
- ◆ 主 要 物 件 : 北関東防衛局 習志野駐屯地 庁舎 電気設備 設計
富山県新湊漁港港湾施設 電気設備 設計
フエルマータ病院 電気設備 設計
南房総市富山小規模特別養護老人ホーム 電気設備 設計・監理
船橋市西図書館 電気設備 設計・監理
その他



古谷 威 代表

新会員紹介

●高濱設備設計室

《入会のご挨拶》

この度、入会させて頂きました。

設計業務を行うにあたり、技術の動向、業界の情報を掴むことが必要不可欠と考えていたので、入会させて頂けた事は大変光栄に思います。

今後は、協会の一員と微力ではございますが、貢献していければと思っています。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。

◆ 事務所名 : 高濱設備設計室

◆ 代表者 : 高濱 克行

◆ 事務所所在地 : 千葉県松戸市小金2-1004

◆ 電話 / FAX : 047-348-4120 (TEL / FAX)

◆ E-mail : takahama3@kmd.biglobe.ne.jp

◆ 業務内容 : 電気設備設計 (建築・土木) ・積算・監理

◆ 創立年月日 : 平成8年4月

◆ 代表者経歴 : 平成5年3月 産能短期大学能率科 卒業

平成5年4月 日本テクニカルスタッフ勤務 (電気設備設計)

平成8年4月 神奈川県大和市にて高濱設備設計室 設立

平成23年1月 千葉県松戸市に移転 業務開始

◆ 主要作品 : 日本道路公団 中国横断自動車道通信管路詳細設計

日本道路公団 東北自動車道他 遠方監視制御設備詳細設計

日本道路公団 ノンストップ料金収受システム基本設計

日本道路公団 東名自動車道他 ETC設備工事詳細設計

東京港埠頭公社 若洲ゴルフリンクス受変電設備更新工事実施設計・監理業務

物質材料研究機構 筑波千現地区照明設備LED化実施設計

国際協力事業団 東京国際センター建物診断業務 (劣化・法チェック業務)

東京都 都営西瑞江第4団地新築工事 基本設計・実施設計

その他 官公庁・事務所ビル・福祉施設・共同住宅 など



高濱 克行 代表

●1級建築士事務所マリンテクノス

《入会のご挨拶》

この度、千葉県設備設計事務所協会に入会させていただくことになりました。(この年齢での協会に入会というのは遅すぎるという感もありますが)

平成13年に設備設計事務所を開設し、今日に至っております。それ以前は、千葉市の設備設計事務所に在籍し、その後都内のゼネコンで設備設計の業務をしておりました。

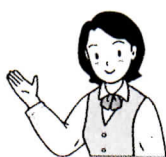
設備設計を生業するようになったのは、某大学の化学工学科で環境に係ることを学び、卒業後引き続き建築科で建築設備を学んだことによります。現在建築士会の佐倉支部にも入会しておりますが、今後は設備設計事務所協会の一員として活動出来ればと思います。

- ◆ 事 務 所 名 : 1級建築士事務所マリンテクノス
- ◆ 代 表 者 : 石岡 修司 (いしおか しゅうじ)
- ◆ 事務所所在地 : 千葉県四街道市大日875-23
- ◆ 電 話 : 043-421-7589
- ◆ F A X : 043-421-7589 / 020-4663-8339
- ◆ E - m a i l : mikann@silver.plala.or.jp
- ◆ 業 務 内 容 : 建築設備設計
- ◆ 代表者経歴 : 平成13年7月 1級建築士事務所 マリンテクノス設立
平成21年7月 (株)マリンテクノス開設
平成28年7月 (株)マリンテクノス解散
1級建築士事務所マリンテクノス開業(個人事業)
- ◆ 主 要 物 件 : 特別養護老人ホームグランドヴィラ湘南台 新築工事
(仮称)特別養護老人ホームなのはな新築工事
(仮称)特別養護老人ホームここあんすの家「ひまり館」新築工事
鍋岡様施主様宅付医療ビル新築工事
花岡金属株式会社様事務所新築工事
秀和ハウス株式会社様 共同住宅新築工事
青木誠様自宅付共同住宅新築工事
(仮称)ヤックスケアタウン千城台新築工事
江戸川中央クリニックビル新築工事電気図
(仮称)千葉スバル自動車(株)鎌ヶ谷店新築工事
(仮称)千葉スバル自動車(株)市原店新築工事
(仮称)千葉スバル自動車(株) 柏店 新築工事



石岡 修司 代表

伝言板



◎正会員入会

- ・(有)古谷建築設備研究所
- ・1級建築士事務所マリンテクノス
- ・アクト設備設計(株)
- ・高濱設備設計室

よろしくお願いします。

◎年末懇親会(望年会)のご案内

〔日 時〕平成28年12月2日(金)18:00より

〔会 場〕プラザ菜の花(例年通り)

千葉市中央区長洲1-8-1

TEL.043-222-8271

〔会 費〕1名様 10,000円

今年もチャリティーオークションを行う予定です。
オークションの品物のご協力をお願いします。

◎正会員退会

- ・(有)ユニ設備事務所

永い間ありがとうございました。

◎賛助会員退会

- ・三菱樹脂インフラテック(株)

永い間ありがとうございました。

うまいもの 食べ歩き



とんかつ居酒屋 喜八

千葉市中央区長洲1-16-6

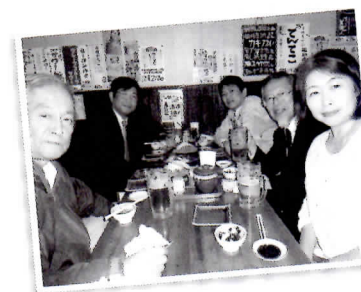
TEL043-222-9036

●本千葉駅/県庁前駅から徒歩3分

今回の編集会議は鈴木会員のお勧めで千葉県庁並びの「とんかつ居酒屋 喜八」さんにお邪魔しました。

入って左手にカウンター、右手がお座敷席で、ザ・居酒屋さんといった雰囲気。なにはともあれ、冠メニューであろう「とんかつ」を頼む。粗めのパン粉で揚げたとんかつは、分厚いロース肉でとても柔らかく、胃もたれ世代の我々でも問題なくさっぱりおいしく頂ける。生牡蠣、蠣フライ、鮮魚の盛り合わせなど、どれもおいしい。おかみさんがテンポよく運んでくる熱燗が早い早い。頼むとすぐテーブルに届くので、つついこちらの杯のピッチも勢いよくなってしまった。今度はランチタイムに訪れてみよう。

(古賀)



■広報委員会

「協会だより」広告記載募集

広告料1年分

- 裏表 150,000円 ●半頁 60,000円
- みかえり 120,000円 ●1/4頁 45,000円
- 1頁 80,000円

申し込みは事務局又は広報委員(菅原、鈴木、古賀、高木、小川、杉浦、隅田)まで

一般社団法人

千葉県設備設計事務所協会発行

〒260-0854 千葉市中央区長洲1-23-2-2 ルネス本千葉102

☎043-227-6531 FAX.043-221-1898

発行人 梶原 等
印刷所 有限会社ニュー
TEL 043-202-5654

■編集後記

協会だよりにはずいぶん永くかかわってききましたが編集長を交代することになりました。

今後編集長は都丸設計の古賀さんになります。

協会だよりが永く続きますようこれからも宜しくお願い致します。

(編集長 菅原)

菅原編集長、協会の広報活動に多大な御貢献を頂き、ありがとうございました。そして大変お疲れ様でした。協会内の新体制の下、編集長の業務を引き継ぐことになりました。不慣れながらも、皆様に喜んでいただけるような協会誌目指し尽力させて頂く所存です。宜しくお願い致します。

(新編集長 古賀)